

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築				整理番号	199		枝番号						
担当部課名 保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	211						
係名 施設計画担当					上位施策名					No					
予算事業名		児童館改築		コード	44350		子どもの育成環境の整備			28					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条他 (2) 児童福祉施設最低基準 (3) 児童館の設置運営について(厚生事務次官通知)他										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		狭隘な荻窪児童館(学童クラブ含む)の移転改築を行う。 当児童館は、都営住宅と併設であるため、設計・建築を東京都住宅局に委託する。平成13年度設計、15年度着工、17年3月竣工。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 狭隘な現児童館を移転改築することにより、規模の拡充と設備の充実を図る。							
	活動指標名(式)		(1) 工事出来高(荻窪児童館)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 改築終了率 = 改築終了館数 / 改築計画館数(3館) × 100 (2)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値	目標値に対する16年度の達成率%			
							計画	実績			19年度				
指標	活動指標(1)		%	0		30		100		100					
	活動指標(2)		%	48		100									
	成果指標(1)		%	0		33		67		67					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	112,996		545,383		140,320		138,468		4,493	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度～19年度は児童館改築の計画がないため、17年度計画欄と目標値欄は記載していない。17年度の事業費は、旧児童館の解体経費等である。		
	(内)委託費		千円	819		126,487		131,024		129,668		4,441			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.90	0.00	0.90	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00	0.10		0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,175		8,095		2,730		4,550		910			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	121,171		553,478		143,050		143,018		5,403			
	単位あたりコスト ÷		円			18,449,267		1,430,500		1,430,180					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0	
		国・都等からの支出金		千円	16,138		36,560		29,607		28,697			0	
		特定財源計 +		千円	16,138		36,560		29,607		28,697			0	
差引:一般財源 -		千円	105,033		516,918		113,443		114,321		5,403				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		98.7			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		児童館改築の予定は、20年度以降の大宮児童館までないが、今後は児童館のあり方検討の結論を踏まえた児童館の整備について検討していく必要がある。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	都営住宅と併設となる荻窪児童館の改築は、東京都住宅局に委託している。着工は13年度に予定していたが、地元住民との調整のため15年度着工に計画を変更し、16年度に予定通り竣工となった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現児童館(学童クラブを含む)を利用している子どもたちの保護者を中心に設備や運営など幅広い分野に多数の要望が出され、学童クラブの待機児解消や障害児の受け入れなどが挙げられた。また、乳幼児やその保護者を対象とした遊戯や交流の場の設置も要望としてあった。
	今後の予測	学童クラブを希望する児童は今後も増えていくことが予想される。今後の改築には学童クラブ室を需要に応じて柔軟に対応できるような配慮が求められる。また、ユニバーサルデザインの考え方に基づき障害児(者)を含むだれにでも利用しやすい施設整備が求められていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:学童クラブの需要や乳幼児の利用促進、障害のある子どもにも利用しやすい施設の整備、施設規模の拡充等により、より多くの児童・保護者に利用されることが想定され、地域における児童健全育成事業の中核としての機能を果たせる。 理由または具体的内容:施設の老朽化が進んでおり、児童館の整備による成果をあげていくためには、経費を増やす必要があると考えられる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 児童館は児童福祉法に定める児童厚生施設であり、児童に健全な遊びを与えて、その健康増進や情操を豊かにすることを目的とした18歳未満の施設である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:児童館の場合、PFI方式の導入などによりコストを下げることは困難である。また、施設の老朽化が進んでおり、施設整備の経費は増加が見込まれる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:施工を東京都住宅局に委託して実施した。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み PFI方式を導入してもメリットが見出せない現状では、現行の設計及び施工を業者に請け負わせる方式を継続することが基本となる。ただし、設計段階に保護者に参画してもらうなどの協働の形を実現していくことが必要と考えられる。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・限られた期間の中で、保護者の意見を設計に反映させていくが、ノウハウを確立していく必要がある。 ・財政等の制約について、保護者に十分理解してもらう必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	荻窪児童館は、17年度に解体工事を行い、事業は完了する。18年度は児童館改築の計画はないため、予算はなしの予定で

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ整備				整理番号	200		枝番号				
担当部課名		児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号				
係名		管理係				上位施策名			No				
予算事業名		学童クラブ整備		コード	44550	子どもの育成環境の整備			28				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ○平成		16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第6条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例 (3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱								
	新泉学童クラブ		活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
			老朽化した新泉学童クラブを、障がい児にも配慮したバリアフリーを施した、安全で安心な施設に改築する。		老朽化した施設を改築・改修して、快適な施設運営を行なう。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
		(1) 改築施設数		(1) 整備率 = 整備済み施設 ÷ 全施設(47所) × 100									
		(2) 改修施設数		(2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		所		1	3	2	1	2	100.0			
	活動指標(2)		所	1		1	1	3	7	14.3			
	成果指標(1)		%	2	2	6	6	9	19	31.6			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			32,713	15,194	22,935	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 児童館の改築を伴う場合は、「児童館改築」に含む				
	(内)委託費		千円			0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.00	0.00	0.30			0.00	0.30	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	2,730			2,730		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	0	0	32,713	17,924	25,665					
	単位あたりコスト ÷		円		0	10,904,333	8,962,000	25,665,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円				722					
		特定財源計 +		千円	0	0	0	722			0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	32,713	17,202	25,665						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	66.7	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	46.4	当初予算では、松ノ木小学童クラブの改築経費が計上されていたが、建設予定地に高圧電気ケーブルが毎設されていたため、高圧電気ケーブルの回避方法の調査検討を行った。その結果、改築工事はあらためて次年度に工事を行なうこととしたため、16年度の予算は執行しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度の改築予定の松ノ木小学童クラブは、定員が45名であるが、改築後は60名を予定しているため、工事費が増額になった。 16年度:新泉学童クラブ面積 87.76㎡ 17年度:松ノ木小学童クラブ 82.34㎡ 136㎡											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	新泉学童クラブは昭和41年度に建設された木造の建物で、老朽が著しくまたバリアフリーにも対応していないため、改築を行なった。また、16年度に予定していた松ノ木小学童クラブは、改築予定地に高圧電気ケーブルが埋設されているのがわかり、児童の安全対策を調査検討するため、改築年次を一年遅らせた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の需要を見越した規模の施設を建設してほしいとの要望があり、松ノ木小学童クラブは、定員の増加を考慮した規模の施設を建設することとなった。
	今後の予測	老朽化・狭隘した施設をユニバーサルデザインの考え方を視野に入れ、障害者(児)を含むだれにでもやさしい施設として整備していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 障害者(児)に対応したバリアフリー化した施設に改築できた。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容： 施設ごとに需要に差があり、必要な面積に応じた施設を整備するため、一律的な金額にはならない。 理由または具体的内容：17年度から実施した学童クラブの登録制により、既存の育成室だけでは、受入が不可能な施設が生じているので、児童館機能を損なわない程度の施設の改修を早急に行なう必要が生じてきている。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 施設の整備は、行政の役割である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容： 学童クラブだけではなく、児童館を含めた一体的な運営を施設の整備の中に取り入れることによりコストの削減を図ることができるかを今後検討していく。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	理由： 設計・施工を一体で行なうことにより、建設コストの削減に寄与した。 理由または具体的内容： 設計・施工を一体で行なうことにより、施工時コストの削減を図り、かつ請負者が得意なプランで設計が可能となり、使い勝手の良い施設建設を行うことができた。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み PFI手法の活用などによりコストの削減を図る。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 登録制実施に伴う受入数の増加に対応するため、育成室の拡充を図る必要が生じた施設を早急に整備して、安全で安心な保育が実施できるようにしていく。また、障害児をはじめ、だれでもが快適にすごすことができる施設を整備していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 老朽化・狭隘した施設やバリアフリーが実施されていない施設などを、計画的に整備していくために、整備計画を作成する必要	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	登録制実施により、育成室が手狭になったきた施設を児童館機能を損なわない範囲で活用していく必要が生じているため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年問題協議会				整理番号	374		枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	384		
係名				子ども青少年係				上位施策名		No			
予算事業名				青少年育成				コード		39550		子どもの育成環境の整備	
事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		30 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方青少年問題協議会法					
区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人				(2) 杉並区青少年問題協議会条例									
区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人				(3) 杉並区青少年問題協議会要綱									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
区の附属機関で、区長が会長となり青少年の指導、育成、保護、矯正等健全育成に関し審議する。 委員数 23人				審議をもとに青少年の健全な育成を図る。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 開催数				(1) (代)区内非行件数									
(2)				(2)									

区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	回	3	3	4	3	3		
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	件	477	491		411			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	681	486	724	553	724	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.44 0.00	0.45 0.00	0.40 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,997	4,047	3,640	1,820		1,820
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++	千円	4,678	4,533	4,364	2,373	2,544		
	単位あたりコスト ÷	円	1,559,333	1,511,000	1,091,000	791,000	848,000		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	4,678	4,533	4,364	2,373	2,544		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	75.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	76.4	予定より会議開催数が少なかったため。	
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和30年に杉並区の附属機関として青少年問題協議会を設置した。青少年の犯罪は、戦後、昭和26年・39年・58年をそれぞれピークとする3回の波があった。ここ数年は、犯罪の低年齢化、凶悪化の傾向にある。このため、青少年健全育成を目指す取り組みは、引き続き必要である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見はそう多く寄せられているわけではないが、青少年に有害な図書・ビデオの自動販売機等への対応を求める意見があった。
	今後の予測	近年、青少年による凶悪な犯罪が社会問題となっている。今後は情報化が一層進み、青少年を取り巻く環境も有害情報の氾濫などが予測される。またインターネットや携帯電話を使った新たな犯罪の増加や犯罪の低年齢化が進むなど、青少年の健全育成のためのさらなる対応が必要となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：青少年の指導、育成、保護などについて様々な立場から子どもたちの現状を報告し、審議することにより、地域全体で青少年の健全育成を図っている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：効率的な検討を行うため、小委員会や専門委員会をつくるなど、審議の方法を工夫する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由：附属機関の運営であり、受益者負担はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由：コストのほとんどは委員への報酬である。他の類似の附属機関に比べても妥当である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容：委員は地域の青少年健全育成団体、子育て支援団体などから代表である。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 青少年をめぐる問題は多岐にわたっているが、審議の方法を工夫することなどにより、会議をより有効なものにする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年表彰				整理番号	375		枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	385		
係名		子ども青少年係				上位施策名			No				
予算事業名		青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区青少年表彰要領								
	善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び主にそれらで構成された団体		(2)										
	善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び主にそれらで構成された団体		(3)										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		善い行いをした青少年等を表彰する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		善い行いをした青少年、及び主にそれらで構成された団体を表彰して善意の行為の気運を盛り上げる。							
活動指標名(式)		(1) 表彰者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)区内非行件数							
		(2)				(2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		人・団体	35	28	100	18	100					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件	477	491		411						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	578	238	398	358	364	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.44	0.00	0.45	0.00	0.40			0.00	0.20	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,997	4,047	3,640	1,820	1,820					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	4,575	4,285	4,038	2,178	2,184					
	単位あたりコスト ÷		円	130,714	153,036	40,380	121,000	21,840					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	4,575	4,285	4,038	2,178	2,184						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	18.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	89.9	被表彰者数が少なかったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		より多くの善い行いをを行った青少年が表彰されるよう、表彰要領の見直しを行った。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、少年の豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	青少年が社会に参画し、相互に支えあうような社会を目指すための奉仕活動等が活発になり、善行表彰の意義が高まっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 善い行いによる表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 善い行いをした青少年がより多く推薦されるよう推薦について周知の方法を工夫する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が表彰するものであり、受益者負担にならない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 被表彰者数に上限を設けていないため。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 地域の団体などに推薦を依頼しているが、区が表彰するものであり協働は難しい。 理由または具体的内容:
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 表彰するためには氏名や住所など個人を特定する必要があるが、善い行いをした人や、その行為の実証が困難な場合がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ・対象者は善い行いをした青少年であり、表彰要件をこれ以上広げることは難しい。 ・より多くの青少年を推薦してもらえるように、周知方法等を工夫する。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		「児童の権利に関する条約」などの推進活動				整理番号	376		枝番号							
担当部課名 保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	386							
係名 子ども青少年係					上位施策名			No								
予算事業名 青少年育成					コード	39550		#REF!								
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業											
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等											
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童の権利に関する条約											
	児童館に来館する小学生及びその保護者				(2)											
	児童館に来館する小学生及びその保護者				(3)											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 子どもの権利条約の周知を目的とした冊子に関係者を交えて作成し、区内児童館で配布する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) これらの冊子を通して、子どもたちが日々の生活の中で、権利を行使できる環境づくりの契機となる。											
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 児童館への配付数					(1) (代) 児童館への配付数											
(2)					(2)											
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%					
							計画	実績								
指標	活動指標(1)		部	3,500	3,000	5,000	4,000	7,000								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		部	3,500	3,000	5,000	4,000	7,000								
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,031	499	797	273	388	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)							
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.22	0.00	0.45	0.00	0.40				0.00	0.20	0.00	0.10	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,998	4,047	3,640	1,820				910				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0				
	総事業費 ++		千円	4,029	4,546	4,437	2,093	1,298								
	単位あたりコスト ÷		円	1,151	1,515	887	523	185								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0				
差引:一般財源 -		千円	4,029	4,546	4,437	2,093	1,298									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	80.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	34.3	冊子の作成費用が予算より安価で済んだため。							
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成17年度は、自己肯定感の大切さについて学ぶことのできる小冊子を作成・配付する予定。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童虐待が深刻化するなど、子どもを取り巻く環境が急速に変化している昨今、条約にうたわれている「子どもの最善の利益」の視点がますます大切になっている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		
	今後の予測	条約にうたわれている子どもの参加参画の機会の提供などの実現が、子どもの自主性・自立性、社会性などを身につけるためにも重要になっていく。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 子どもの最善の利益などについて周知することで、子どもが社会の中で健全に成長できる。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 冊子を作成・配付するだけでなく、冊子をもとに話し合いをするなど啓発の方法を工夫する。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 普及・啓発が目的のため、受益者負担の考え方はなじまない。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 予算計上しているのは、冊子の印刷経費と作成にかかる謝礼だけである。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 17年度に作成する冊子を、より子どもにわかりやすくするため、作成過程でユースプロジェクトすぎなみの子どもなどに協力を依頼する。 理由または具体的内容:	
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 17年度に作成する冊子を、子どもにわかりやすく受け入れられやすい物にするため、作成過程でユースプロジェクトすぎなみの子どもなどに協力を依頼する。	

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 条約にうたわれている、子どもの意見表明や社会参加参画などを、子ども関連の事業などで実施方法などを工夫し、実質的に進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年育成委員会助成				整理番号	377		枝番号						
担当部課名		児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	386				
係名				子ども青少年係				上位施策名			No				
予算事業名				青少年育成				コード	39550		子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		31年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱						
	17青少年育成委員会								(2)						
									(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				・各青少年育成委員会からの申請を審査し、事業費の一部として17青少年育成委員会あたり90万円を上限として補助金を交付する。 ・各青少年育成委員会及び杉並区青少年育成委員会会長連合会に対し、相談、連絡調整等、活動の側面的な支援を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				・育成委員会が行う事業などを通して子ども達が安全に健やかに育つ環境をつくる。			
活動指標名(式)								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 委員会数								(1) 青少年育成委員会の実施事業数							
(2) 委員数								(2) 青少年育成委員会の行う事業への参加者数							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度計画		16年度実績		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		団体	17		17		17		17					
	活動指標(2)		人	892		908		912		895		934			
	成果指標(1)		件	198		207		195		325		243			
	成果指標(2)		人	116,853		107,072				126,431					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,380		15,281		15,922		15,956		15,911		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.63	0.00	0.79	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,722		7,105		6,370		6,370		6,370			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	21,102		22,386		22,292		22,326		22,281			
	単位あたりコスト ÷		円	1,241,294		1,316,824		1,311,294		1,313,294		1,310,647			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	21,102		22,386		22,292		22,326		22,281				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0		活動指標(2)の16年度達成率%	98.1		16年度予算執行率%		100.2				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・子ども達が安全に健やかに育つ環境づくりを進めるため、有害環境浄化活動に特に力を入れるよう要綱の見直しを行った。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年人口(0~29歳) H10 182,122人 H13 173,159人 H15 168,158人 杉並区の少年犯罪数 H10 708人 H13 429人 H15 486人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	有害な情報の氾濫や青少年が凶悪な犯罪に巻き込まれる事件の発生など、青少年を取り巻く環境はますます悪化している。子ども達が安全に健やかに育つ環境づくりを進めていくために、地域社会の総力を結集した青少年育成委員会が地域で果たす役割がより一層重要となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:各青少年育成委員会の事業には多くの参加者があり、事業を通して子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会が提供されまた、環境パトロールなど子どもたちが安全に健やかに育つ環境づくりを進めており、青少年の健全育成を図る上で大きな位置を占めている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:これまで以上に地域のニーズに的確に対応した事業内容への働きかけと、活動内容をより広くPRする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:育成委員会委員はボランティアとして活動しているため、受益者負担はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容:補助金のみを財源して運営するのではなく、参加費を取るなど参加者にお応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかける。また、現在の活動内容を見直し、より効果の高い物にしていくよう働きかける。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:運営の補助を行っているほか、事業を実施するための会場確保などの協力を行っている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・各青少年育成委員会事業がこれまで以上に地域のニーズに的確に対応したものになるように働きかける。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 青少年育成委員会の活動内容が地域住民に十分に理解されているとは言い難いため、担当地域内のPR活動が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人祝賀				整理番号	378		枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	388		
係名		子ども青少年係				上位施策名			No				
予算事業名		青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 「成人祝賀のつどい」実施要綱								
	該当年度に20歳を迎える区民		(2)										
	該当年度に20歳を迎える区民		(3)										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		「成人祝賀のつどい」を企画・運営する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 出席者数				(1) 出席者数/対象者数									
(2)				(2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	2,378	2,580	2,412	2,518	2,518					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	39	43	37	44	44					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,434	6,932	7,486	6,788	7,011	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	1,995	3,265	3,155	3,192	3,560					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.01	0.00	0.79	0.00	0.70			0.00	0.70	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,174	7,105	6,370	6,370	6,370					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	12,608	14,037	13,856	13,158	13,381					
	単位あたりコスト ÷		円	5,302	5,441	5,745	5,226	5,314					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	12,608	14,037	13,856	13,158	13,381						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	104.4	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	90.7						
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		杉並公会堂改築に伴い、中野サンプラザホールを利用したため、会場使用料及び付加機器などの経費がかかった。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	成人祝賀のつどいの対象者は、減少の傾向にある。 対象者数 H元 10,945人 H5 9,705人 H10 7,589人 H15 6,061人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	より多くの出席者が入場できる実施施設の確保するため、つどいの実施日を成人の日の前日としたが、つどいの終了後他自治体の友人と一緒に祝うことができないなどの苦情があった。
	今後の予測	成人式のあり方が全国的に問題となっている。同窓会のような雰囲気を求める新成人の声と厳粛なセレモニーとの調和をどう図るかが課題となっていくと思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:新成人の意識の変化があるが、祝い励ますという目的は変わらず、一生に1度の記念日として思い出に残る事業となっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:第二部のコンサートや、会場内外の警備の一部を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 会場内外の警備の委託を増やしていく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改築中である杉並公会堂の収容人員が1000人程度であるため、午前・午後の二部制となる。このため人員の入れ替えが必要になることから、安全確保のための警備などに力を入れる必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	改築中である杉並公会堂が完成するため、会場使用料は安価になるが、二部制になるため警備委託料が増加する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボーイスカウト・ガールスカウト共催分担金				整理番号	379		枝番号					
担当部課名 保健福祉部児童課		コード	09230128		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	389					
係名 子ども青少年係					上位施策名					No				
予算事業名 青少年育成					コード	39550		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区後援名義等使用承認事務取り扱い要領									
	日本ボーイスカウト東京連盟杉並地区、ガールスカウト東京都支部杉並地区				(2)									
					(3)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ボーイスカウト・ガールスカウトが区内で行っている青少年健全育成事業を共催し、予算の範囲内で分担金を支出する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ボーイスカウト、ガールスカウトが行う事業を通し地域で青少年が健全に育てる									
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 事業開催数					(1) (代)参加者数									
(2)					(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画	実績						
指標	活動指標(1)		回	4		3		3		3				
	活動指標(2)		回											
	成果指標(1)		人	731		397				346		400		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	315		315		315		315		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.11	0.00	0.11	0.00	0.11	0.00	0.10	0.00		0.10	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	999		989		1,001		910		910	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 ++		千円	1,314		1,304		1,316		1,225			1,225	
	単位あたりコスト ÷		円	328,500		434,667		438,667		408,333			408,333	
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0	
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	1,314		1,304		1,316		1,225		1,225			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%	100.0		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度より学校五日制が実施され、青少年の活動の場としての役割が大きくなっている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		
	今後の予測	地域社会との接触が希薄になりがちな現代の青少年にとって、積極的に社会への参加を促すような青少年健全育成事業の必要性は高まっていく。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:地域での子供たちの健全育成を長期にわたり積極的に行っている団体との共催事業であり子どもの健全育成への一定の貢献がある。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫する	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業を共催で行っており、既に応分の負担をしている。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:事業を行うための最低限の金額である。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:事業を共催で行っている。	
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み	

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の周知方法などを工夫し、より多くの子ども達が参加するようにしていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成18年度は4年に一度のボーイスカウトジャンボリーがあるため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の社会参加・参画の推進				整理番号	380		枝番号					
担当部課名 保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	390					
係名 子ども青少年係					上位施策名			No						
予算事業名 青少年育成					コード	39550		#REF!						
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) ユースプロジェクトすぎなみ設置要綱									
	中学1年生から18歳までの青少年				(2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 青少年の主体性や社会性を育み、社会参加の促進を図るとともに、区の青少年施策について意見を述べる。また、青少年の社会参画促進事業・自主企画事業を実施する。				(3)									
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 自主企画等事業数					(1) 事業に参加した委員数									
(2) 委員会開催回数					(2) 委員会出席委員数									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
							計画	実績						
指標	活動指標(1)		回	1	5	2	4	3						
	活動指標(2)		回	6	18	24	16	24						
	成果指標(1)		人	14	49	60	65	105						
	成果指標(2)		人	70	184	720	224	840						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	212	242	783	974	957	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.00	0.56	0.00	0.50				0.00	0.60	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,450	5,037	4,550	5,460				5,460		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 ++		千円	5,662	5,279	5,333	6,434	6,417						
	単位あたりコスト ÷		円	5,662,000	1,055,800	2,666,500	1,608,500	2,139,000						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0		
差引:一般財源 -		千円	5,662	5,279	5,333	6,434	6,417							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		200.0	活動指標(2)の16年度達成率%		66.7	16年度予算執行率%	124.4					
		3月末に青少年育成委員会の研修会としてユースプロジェクトすぎなみ委員によるフォーラムを行ったため講師謝礼などの経費がかかったため、予算の執行率が上がった。												
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年12月に実施した「区長への提案」に向け、グループに分かれ集中的に検討するなどの工夫をし、積極的に区の青少年施策に意見を述べる事ができた。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	委員数の推移 H14 17人 H15 20人 H16 27人 H17 27人		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			
	今後の予測	青少年が自主性・自立性、社会性などを高め、健やかに育つため、社会参加参画の機会の提供がますます重要になっていく。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:委員の活発な活動が行われ、青少年の社会参加・参画の促進が図られている。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:委員会開催日の工夫など 理由または具体的内容:コースプロジェクトすぎなみを実施する事業に委員以外の子どもの参加を募るなど、子どもの参画を全区的に広げていく。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性質上、受益者負担はなじまない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:必要最小限のコストで運営しているため。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:公募等による子どもたちにより委員会を組織している。		
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委員自らが会議を進め、積極的に区の青少年施策に対して意見を述べたり、事業を企画・実行できるよう支援していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平日は委員の都合が合うことが少なく、会議の開催回数も限られる。休日昼間に開催するなど、工夫する必要がある。意見を述べることや事業を企画するためには、ある程度のノウハウが必要であり、これらの能力を上げるために研修会などを開くことも大切と考える。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 委員の能力向上などのための研修会の開催、他団体との交流などを新たに取り入れる。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター・児童館施設維持管理及び運営				整理番号	431		枝番号		
担当部課名 保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	440		
係名 管理係					上位施策名			No			
予算事業名 児童館等維持管理					コード	44050		子どもの育成環境の整備			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 41 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体				(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ・適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とする。 ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。						
	活動指標名(式) (1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数 (2) 年間修繕件数(センター及び児童館)						
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	1,165,349	1,317,935	1,449,728	1,331,694	1,398,418	1,400,000	95.1	
	活動指標(2)		日	13,799	13,890	13,800	13,808	16,189	16,189	85.3	
	成果指標(1)		人	84	95	101	96	86	86	111.6	
	成果指標(2)		件	259	275	230	280	230	230	121.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	362,982	395,537	476,320	450,602	490,212	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	149,349	156,096			
	職員数(常勤 非常勤)		人	98.70 38.60	103.50 40.60	100.00 40.60	103.50 33.60	100.00 33.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	896,492	930,879	910,000	941,850	910,000			
		非常勤職員分	千円	113,291	112,015	116,928	96,768	96,768			
	総事業費 + +		千円	1,372,765	1,438,431	1,503,248	1,489,220	1,496,980			
	単位あたりコスト ÷		円	1,178	1,091	1,037	1,118	1,070			
	財源	受益者負担分		千円	2,190	2,755	1,921	4,565			917
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	2,190	2,755	1,921	4,565			917
差引:一般財源 -		千円	1,370,575	1,435,676	1,501,327	1,484,655	1,496,063				
受益者負担比率 ÷		%	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	91.9	活動指標(2)の16年度達成率%	100.1	16年度予算執行率%	94.6	臨時職員賃金及びパート職員報酬が計画より少なくなったために残が発生した。			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害児・乳幼児親子の利用しやすい環境整備を課題としており、平成16年度は今川児童館外数館の乳幼児室に空調機を設置した。平成17年度も空調機を設置を予算要求している。また、トイレの洋式化と入口のバリアフリー化を数館で行った。しかし、まだまだ障害児・乳幼児親子の利用しやすい環境への整備が必要である。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められている。
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要である。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 少子化や遊び場の減少が進む現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設の老朽化により多くの個所で不具合が生じている。 理由または具体的内容: 設置から30年以上たっている区施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者ニーズにあった施設に建替えや改修が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴い維持件費がかかっている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 清掃業務や機械設備委託等で施設維持をおこなっている。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 利用者や地域住民とともに地域の子育ての拠点となる児童館の維持管理を行っていく。資材や材料は行政で用意し、利用者や地域の方々で技術のある方を中心に施設の修理を行う。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 児童館はもともと障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となる。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的・計画的に改修する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の改修が比較的大規模になるため、予算措置・児童館の休館(学童クラブの代替施設探し)・部屋の兼用が難しく拡張ができない等の問題がある。早期に個別の館ごとに、施設のあり方についてさまざまな観点から詳細に検討し実行していく必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にある。また、学童クラブの登録制や乳幼児親子、障害児の利用しやすい施設整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設置が必要となってきた。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年9月開設以来7年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は6.3～6.7万人前後で推移している。中学生・高校生について見ると、少子化により8年間で約4千人強の人口減が見られるなか、年間平均約4.5～5万人の利用者数を維持しており、利用率の相対的な増加傾向が続いている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中高生から次のような意見が寄せられている。「あまり干渉されずに自由に過ごしたり、音楽、スポーツ、ダンスなど好きな活動に打ち込める」「講座の内容もリクエストに答えてくれて、アカペラやボイストレーニングなど新しいものを取り入れてくれるのがうれしい」「グループや中高生委員会等で考えた自主企画が実現でき、手ごたえを感じる」
	今後の予測	中高生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての役割は、今後も増していくものと思われる。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化が求められる。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者へのケアについて、多様な中・高校生の受け入れが可能な数少ない社会的施設として、その期待が高まるものと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生の居場所として利用は活発化し、16年度の数値に表れているとおり自主的活動の充実も見られ、子どもの育成環境整備への貢献度は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 中高生の自主活動へのかかわりをさらに促進するため、事業の内容をさらに工夫し、新しい手法を検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 材料費等の自己負担はすでに実施済み。施設利用料の徴収等は、自由な居場所の提供、自主活動の推進といった施策目的達成の妨げになる。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 自主企画実現支援に力点を移し、従来の講座・講習の見直しを行う。一方、新分野の取り組みにシフトする。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 現在取り組んでいる青年ボランティアの育成をさらにすすめ、青少年の育成・支援についての考え方やノウハウを蓄積することが必要と考える。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主活動推進の指標のひとつである登録グループの増加に取り組み、団体利用のさらなる活発化を図る。自主企画実現支援の姿勢を継続する。中・高校生運営委員会への支援を強化し、自立的な会運営のための力量をあげるとともに、施設運営への意見表明や参画の取り組みを充実させる。中・高校生の現状を捉え、課題やテーマに応じた啓発事業を充実させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	中高生の自主企画実現支援に力点を移し、従来の講座・講習の見直しを行う一方、不登校児対応、日常的な相談活動及び進路選択・職業体験支援事業等、新分野の取り組みをさらに推進する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域中高校生事業				整理番号	434		枝番号			
担当部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	443		
係名 運営指導係					上位施策名				No			
予算事業名 児童健全育成事業					子どもの育成環境の整備				28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区地域中・高校生委員会設置要領							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 中・高校生の地域における居場所づくり、意見表明、社会参画の実現を目的とした地域中・高校生委員会を7か所の児童館に設置し、委員によるより使いやすい児童館のあり方の検討、自主企画、児童館と地域団体の共催事業への参画等を実施するとともに、委員会の要望に基づく運営の改善や中・高校生対象の事業に取り組む。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 中・高校生が児童館を居場所や自主活動の拠点として活発に利用するとともに、意見表明や社会参画に意欲的に取り組み、自主性や社会性を高める。							
	活動指標名(式) (1) 委員会延べ参加者数 (2) 委員会自主企画及び中・高校生対象事業実施回数(全児童館)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自主企画及び中・高校生対象事業参加者数(全児童館) (2) 中・高校生児童館利用者数(全児童館)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	487	724	700		891	700	700	127.3	
	活動指標(2)		回	760	947	1,040		1,190	1,130	1,000	119.0	
	成果指標(1)		人	5,500	6,496	7,140		8,862	8,000	8,000	110.8	
	成果指標(2)		人	31,576	48,625	53,000		48,934	48,000	48,000	101.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,363	1,221	2,083		544	1,462	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0		0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.80 1.00	3.80 1.00	4.80 1.00		5.80 1.00	5.80 1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	25,432	34,177	43,680		52,780			52,780
		非常勤職員分		千円	2,935	2,759	2,880		2,880			2,880
	総事業費 + +		千円	29,730	38,157	48,643		56,204	57,122			
	単位あたりコスト ÷		円	61,047	52,703	69,490		63,080	81,603			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0			0
差引:一般財源 -		千円	29,730	38,157	48,643		56,204	57,122				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	127.3	活動指標(2)の16年度達成率%	114.4		16年度予算執行率%	26.1	中・高校生委員会の研修合宿を実施しているが予算の人数分は執行されなかったため		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	初年度77名、2年目は83名、3年目は68名の中・高校生が委員として活動し、自主企画事業を実施するとともに、中・高校生にとって使いやすい児童館のあり方の検討を行う等成果があった。また、要望にこたえ15年度、音楽器材の購入や中・高校生が7時まで利用できる時間の設置など運営の改善を実施している。また、中高生アウトドア事業(児童館主催)の企画・実施を通じて委員会同士で協力し合う取り組みも生まれた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年委員が協力員として活動に関わっているが、事業への評価は高い。委員の保護者からも、参加できてよかったという声が寄せられている。また、「子ども・子育て将来構想懇談会」の話し合いの中でも評価を得ている。
	今後の予測	中・高校生の育成や社会参画についての関心は高く、中・高校生自身の要望にこたえながら、居場所づくりや自主活動、地域の中での活躍の機会等を広げていくことが求められている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生の意見表明や社会参画、自主活動を促進するとともに、活動を通して自主性、社会性を育成することになる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 7か所それぞれに特徴のある活動を行っているが、委員数や活動量は委員会によって成果の差がある。少ないところで委員や活動を増やし、支援を強めることで、成果を向上させることができる。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 対象が中・高校生であり、目的や活動内容からも受益者負担は不適切である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 中・高校生向けの設備や事業を整備していく上での一定の予算措置が今後も必要である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 地域の青少年委員が委員会活動を事務局協力員として支援してくれたり、地域のまつりの場で中・高校生委員会の企画を実施したりするなど協力関係が広がっている。中・高校生の活動を、地域の区民やグループが支えていく方向で、協働をすすめていく必要がある
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 これまでの活動を踏まえ、委員会の存在がより多くの同世代や地域の人々に認められるような活動の支援を行っていく。また、中高生委員会にふさわしいやり方で、地域社会に参画する方法をそれぞれの事務局で検討し、具体化していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既存の児童館の整備範囲では、スペースや設備の点で限界がある。中・高校生専用の利用時間帯や部屋の整備等を既存の児童館運営の中で工夫していくことが必要であるが、より根本的には専用の活動拠点のあり方を検討していく必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号	437		枝番号				
担当部課名		保険福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	447		
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				児童健全育成事業・地域子育て推進				コード		43550・43750		子どもの育成環境の整備	
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第1～7、35、40、45条						
	18歳未満の児童及び保護者						(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				自由利用、定例活動（工作・調理等）、小型特別行事（スポーツ大会・遠足・講演会等）、大型特別行事（まつり・キャンプ等）、子育てネットワーク事業（地域連携・シンポジウム等）、ゆうキッズ事業等による子育て支援活動（ゆうキッズ事業は別掲448にあり）		(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規程						
	活動指標名(式)				(1) 児童館年間延べ行事実施回数 (2) 児童館年間延べ行事参加者数		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が培われ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。						
成果指標名(式)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 行事参加率(年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用者数) (2)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
							計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	8,830	10,642	16,865	18,213	18,300	18,600	97.9			
	活動指標(2)		人	235,275	252,917	350,100	488,384	490,500	498,500	98.0			
	成果指標(1)		%	22	30	30	40	40	40	100.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,089	27,613	24,481	25,485	24,800	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円				0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		人	38.00 13.80	40.35 12.80	37.85 12.80	38.00 11.80	40.70 10.80					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	345,154	362,908	344,435	345,800	370,370					
		非常勤職員分	千円	40,503	35,315	36,864	33,984	31,104					
	総事業費 + +		千円	411,746	425,836	405,780	405,269	426,274					
	単位あたりコスト ÷		円	46,630	40,015	24,060	22,252	23,294					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	979	500	0	1,510					
		特定財源計 +		千円	979	500	0	1,510				0	
差引:一般財源 -		千円	410,767	425,336	405,780	403,759	426,274						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	108.0	活動指標(2)の16年度達成率%	139.5	16年度予算執行率%	104.1					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(隔年1月1日現在):昭和61年=98、222人、平成2年=84、706人、平成7年=69、662人、平成12年=62、023人、平成17年=59、804人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	子どものニーズに基づく多様なプログラム、ゆうキッズ事業をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対し、高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実また、障害児への対応の充実が求められている。
	今後の予測	問題を抱えている子どものみならず、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となる。子育て、子育ての困難への対応、さらには虐待や養育困難家庭への対応が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増している。とりわけ地域子育てネットワーク事業の充実によって、子どもと子育てを支える地域社会づくりに貢献で
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行事にかかる経費のうち、参加者に利益が還元されるものについては、既に一部受益者負担を導入している。また、児童館行事の参加対象者は小学生が主体であることから、今以上の受益者負担は困難である
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やボランティア、子育て支援グループの協力により実施されている。今後は地域の子どもと子育てを支える力を醸成していく観点から、より地域の区民・NPOに事業実施を委ね、協働で児童館を運営していく方向である。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 学校、地域、関係公共団体、関係機関との連携・調整は今後も区の大きな役割の一つである。児童館で実施する様々なプログラムについては、ボランティアやNPOなどの民間の力に一部委ねていく方向である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 養育困難家庭の支援及び子育てネットワークの再構築 区民・NPOとの協働を図る。(18年度までに区民企画プログラムを全プログラムの30%にする目標) 児童館事業に特色(乳幼児対象のゆうキッズ先行館、障害児利用促進重点館、中・高校生利用促進重点館)を持たせ、多様化する区民ニーズに対応する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 職員の意識改革が必要 協働する区民・NPOを発掘し、支援していかなければならない。職員の意識改革が必要である。ハード面で環境が整っていない。当面小規模修繕で対応するが、各館の特色ある運営のためには、施設整備が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	各館の特色ある運営のため、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかる。NPOの発掘や、職員の研修にも一定の経費が必要である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ運営				整理番号	440	枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	450			
係名 管理係				上位施策名				No				
予算事業名 学童クラブ運営				コード	43350	子どもの育成環境の整備						
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				39 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法第6条								
親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの障害児				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
区内47学童クラブにおいて共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性、協調性を促すよう援助指導を行う。また障害児の巡回指導を行う。				共働き等により留守家庭となる児童に対し、放課後の保育の場を提供することにより、親が安心して働ける環境を整備するとともに、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 入会児童数				(1) 入会希望児童の入会率 = 入会児童数 ÷ 入会児童申請数								
(2) 入会障害児童数				(2)								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標		活動指標(1)	人	2,139	2,200	2,355	2,423	2,550	2,699	89.8		
		活動指標(2)	人	69	67	83	75	85	90	83.3		
		成果指標(1)	%	95	96	100	97	100	100	97.0		
		成果指標(2)	%									
総事業費・コスト把握		事業費	千円	12,371	14,662	47,373	15,844	26,331	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 過去5年間学童クラブ待機児童数(各年4月1日現在) 平成12年度 42名 平成13年度 49名 平成14年度 22名 平成15年度 30名 平成16年度 28名			
		(内)委託費	千円	1,635	2,734	2,150	2,065	2,220				
		職員数(常勤 非常勤)	人	94.30 6.00	96.00 6.00	96.00 7.00	96.00 8.00	91.00 13.00				
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	856,527	863,424	873,600	873,600				828,100
			非常勤職員分	千円	17,610	16,554	20,160	23,040				37,440
		総事業費 + +	千円	886,508	894,640	941,133	912,484	891,871				
		単位あたりコスト ÷	円	414,450	406,655	427,788	376,593	349,753				
		財源	受益者負担分	千円	61,929	66,946	72,300	70,464				84,809
			国・都等からの支出金	千円								3,002
			特定財源計 +	千円	61,929	66,946	72,300	70,464				87,811
差引:一般財源 -	千円		824,579	827,694	868,833	842,020	804,060					
受益者負担比率 ÷	%	7.0	7.5	7.7	7.7	9.5						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	102.9	活動指標(2)の16年度達成率%	90.4	16年度予算執行率%	33.4					
		16年度に予定していた学童クラブの運営委託は、受託法人が委託を辞退したため、開始を延期した。このため、運営委託に係る経費(委託料:31,084千円)を減額補正した。										
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		1 登録制については、今年度からの本格実施に向け、11クラブで試行を行った。 2 学童クラブの運営委託については、「学童クラブ運営委託検討会」を設置し、15年度取組みの検証や18年度の委託の進め方について検討を行った。その報告に基づき、平成18年度の委託方針案を策定し、保護者や区民から幅広く意見を聴いた。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童数の減少傾向にも関わらず学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にある。このため、第二学童クラブの設置及び施設改修による定員増、学童クラブ登録制の実施(15年度から試行、17年度本格実施)、午後6時までの育成時間の延長や学校休業日の午前8時30分からの受入れを実施してきた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	希望者の全員入会、育成時間の延長、障害児受入(人数、対象(中学生まで))の拡大、学校や家庭への送迎を行ってほしいなどの要望があった。
	今後の予測	共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は今後も増加が見込まれる。(19年度は、16年度比7.7%増の見込み)
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にある。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容：一定の施設整備などを行わない限り、現状ではスペース面で制約のある児童館や単独学童クラブで、全ての入会希望者を受け入れることは困難であるため。 理由または具体的内容：一定の施設整備や受入れ数の増加に伴う人員措置などを行い、待機児0を実現する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 今のところ、現状の学童クラブ利用料を継続する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容)	理由または具体的内容： 学童クラブ運営を段階的にNPOなど民間の運営に委ねる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由：18年度の委託に向け、今後、法人選定委員会による法人選定、受託法人との引継ぎなど、必要な準備を進める。 理由または具体的内容： 18年度は、都内にあるNPO法人、社会福祉法人、学校法人から受託法人を選定し、学童クラブの運営を委託する。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体() 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容)	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 児童館運営などへの区民やNPO等の参画と協働を進めるとともに、今後の児童館や学童クラブのあり方について、検討会を設置し、見直しを行う。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 登録制クラブでの目安数や定員制クラブでの定員を超える児童への対応策を検討するとともに、運営については段階的にNPOなど民間の運営に委ねていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学童クラブは、児童館など建物を使用しての事業運営であるため、スペース面での制約が生じてしまう。従って、スペース確保のための方策が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成18年度に学童クラブの運営委託を実施するため、委託料を計上する。